

© 2005 Shaul Schwarz/Getty Images/CARE

特に弱い立場にある 女性や子どもたちへの自立支援

1日1ドル以下で暮らす、世界の最貧困層の75%は女性が占めています

多くの女性が、教育、医療、情報へのアクセスなどについて、男性と同等の機会を与えられていません。しかし、女性たちは、必要な知識、手段、機会さえあれば、自らの人生、また夫や子どもの人生、そして社会をも変える力を持っています。女性たちが本来持つこうした能力を引き出し、彼女たちがそれらを発揮しうる支援を実施することが、世界の貧困削減のためには不可欠であり、また、最も効果的な方法なのです。

CAREのおかげで、私は暗闇から抜け出し、
村の男性と同じようにリーダーとなることができました。

Leocadie Mponyoreyeko

CAREのコミュニティ支援の方法は、私たち自身が
正しい解決法を見つけるまでの自由と時間を与えます。

Katharin Dyen

公益財団法人 ケア・インターナショナル ジャパン

〒171-0031 東京都豊島区目白2-2-1
目白カルチャービル5階
TEL: 03-5950-1335 FAX: 03-5950-1375
Email: info@careint.jp.org
Website: www.careint.jp.org



CAREは、国連・経済社会理事会との総合協議資格を有する国際協力NGOです。
ケア・インターナショナル ジャパンへのご寄付は、確定申告の際、寄付金控除の対象となります。

生きるチカラを信じて支える

国際協力NGO
CARE International Japan



CAREとは Who is CARE?

CAREは、世界**70ヶ国**以上で

人道支援活動を行う**世界最大級のNGO**です。

15,000人の高度な専門性をもつスタッフが、
年間**6,500万人**に対し支援を実施しています。

60年以上にわたる貧困の根絶に向けたその活動は、
世界**33万人**の支援者に支えられています。

ケア・インターナショナル ジャパンの歴史

History of CARE International Japan

1945年に戦後ヨーロッパの被災者支援から

始まったCAREの支援は、戦後の日本にも届き、

1948年から8年間で**1,000万人**以上の日本人が
食糧や自立支援の道具などが詰まった

CAREパッケージを受け取りました。

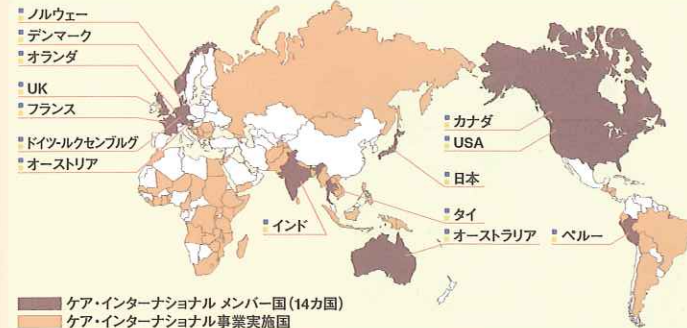


1987年、今度は日本が世界で貧困に苦しむ人々の助けになろうと

CAREの日本事務局として発足したのが、

ケア・インターナショナル ジャパン (旧ケア・ジャパン) の始まりです。

CAREの組織 Governance & the Secretariat



※事務局は、スイス (ジュネーブ) にあります。

生きるチカラを信じて支える

SHE HAS the **POWER** to change her world.
YOU HAVE the **POWER** to help her do it.

たとえば、あなたからのご寄付は、
世界中にたくさんの笑顔を生みながら、このような形で実を結びます。

教育



3,000円で

教師が圧倒的に不足するパキスタンの小学校において、教員を補助するアシスタント・ティーチャーを養成することができます。

緊急支援

12,000円で

地震やサイクロンなどの自然災害が発生した際に、石けん・タオル・歯ブラシ・生理用ナプキン・洗剤・軟膏などを含む緊急衛生キットを、被災した10世帯に届けることができます。



保健・衛生



36,000円で

出産を控えた7人の妊婦に、母乳育児や乳幼児の健康管理に関する情報をはじめ、ビタミン補助食品や出産に必要な用品が入った母体保護キットなどを提供し、出産に伴う危険を回避することができます。

© Evelyn Hookstein / CARE

CAREは、あなたの想いを確実に開発途上国の人々のもとへ届けます。

ケア・インターナショナル ジャパンの活動 What We Do

貧困の根源の解決

ケア・インターナショナル ジャパンは、貧困の根源の解決に向け、主にアジアやアフリカにおいて災害時の人道支援を行うとともに、「女性や子ども」に焦点をあてた活動を通して最も困難な状況にある人々の自立を支援しています。

緊急支援事業

国際ネットワークを生かした迅速な支援

世界各地の被災地でCAREはその国際ネットワークと現地スタッフの知識やノウハウを生かし、瞬時に緊急支援を開始。現地のニーズを十分に把握した上でコミュニティの力を最大限に生かした支援を行い、復興へと導きます。



© 2005 CARE / Josh Estley

復興支援事業

包括的アプローチで自立を支援

収入向上、教育、保健・衛生、HIV/エイズ、農業、環境など多岐にわたる分野の活動を通じて、最も弱い立場にいる人々（極度に貧しい、または社会的に隔離・迫害されている人々など）の自立を支援しています。



© CARE

支援の方法 How to Get Involved

まずは、途上国の人々の現状とCAREの国際協力活動について知ってください。

[CAREのウェブサイトを見る](#)

[メールマガジンに登録する](#)

[資料を請求する](#)

1: 参加する

- ▷平日/週末ボランティア(事前登録が必要です)
- ▷国内イベントや活動報告会に参加・協力する

▷プロボノ*

*社会的な目的のために、職業上の専門知識や経験を無報酬で提供すること。

2: 寄付する

多様な寄付の方法をご用意しています。

- ▷一般寄付
- ▷CARE マンスリー・ギビング・プログラム(毎月1,000円からの定額寄付)

▷特定寄付(特定事業や緊急募金への寄付)

▷IAP (I am powerful) 基金(女性のエンパワメントを支援するための基金)

3: 会員になる

▷個人会員 年会費1口1万円

▷法人会員 年会費1口10万円

クレジットカードでのご寄付はインターネットで。

DC、VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESSがご利用になれます。

ケア・インターナショナル ジャパン

検索